

講義名称	卒業研究 I	担当教員名	高山 有紀
科目群	必修 (REQ)		
科目区分等	卒業研究 CA4 DI2	単 位	2
対象学年次	2年・春学期	ナンバリング	REQ211

授業のキーワード	日本文化史、地域文化史、学校文化
授業の概要	日本文化、地域文化、学校文化に関するテーマを選びます。次にそれがなぜ重要なのか(あるいは興味深いのか)、歴史的な視点で考察します。今後どうあるべきか、について考えられるとさらによいでしょう。
期待される学習成果(目標)	1、日本文化、地域文化等に関わる問題を通して、日本社会の変遷について学ぶことが出来ます。 2、身近な文化と自分との関係性を知ること、卒業後の進路で必要とされる基礎学力を身につけることができます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業の進め方について説明します。
2	文化を学ぶとは	文化とは何か、文化を学ぶことにどのような意味があるのかを考えます。
3	地域の文化①中世寺社の発展	群馬県の歴史について学びます。
4	地域の文化②近世の城下町	群馬県の歴史について学びます。
5	地域の文化③近世の庶民文化	群馬県の歴史について学びます。
6	地域の文化④近代教育の発展	群馬県の歴史について学びます。
7	地域の文化⑤近現代産業の発達	群馬県の歴史について学びます。
8	中間のまとめ	前講までの学びを総括します。
9	ゼミ論文の準備①	各自ゼミ論文の構想を練ります。個別相談も行います。
10	ゼミ論文の準備②	各自ゼミ論文の構想を練ります。個別相談も行います。
11	ゼミ論文の準備③	各自ゼミ論文の構想を練ります。個別相談も行います。
12	ゼミ論文の準備④	各自ゼミ論文の構想を練ります。個別相談も行います。
13	ゼミ論文の準備⑤	ゼミ論のテーマについて、各自報告をします。
14	ゼミ論文の準備⑥	論文の書き方について説明します。
15	まとめ	本講での学びを総括します。夏休み中に行うべきことを示し、確認します。

定期試験	ゼミ論文の構想と、夏休み以降の作業計画を提出してもらいます。
授業時間外学習	第1～7講：ゼミ論のテーマを決めるための下調べを行います(60分)。第8～13講：参考文献を探しゼミ論執筆の準備をします(60分)。第14講：章立てを決定します(60分)。
評価方法	授業への取り組み(30パーセント)、課題に対する評価(70パーセント)により総合的に評価します。
使用する教科書(必ず購入してください)	
参考文献	西垣晴次編『図説 群馬県の歴史』河出書房新社 小山静子『子どもたちの近代—学校教育と家庭教育—』吉川弘文館